

■ジャパンダートダービー(Jpn I)アラカルト(過去10年の分析)

※平成19年(2007年)からダートグレード競走の格付け表記が変更

(地方競馬で行われる全競走とJRAで行われる一部競走がGからJpnに変更)

※記録は7月1日時点のもの

■JRA所属馬が8勝と優位

◇JRA所属馬 8勝、2着8回、3着6回。3着内率73.3%

◇地方所属馬 2勝、2着2回、3着4回。3着内率26.7%

※地方所属馬の2勝は第9回フリオースと第12回マグニフィカ。どちらも船橋所属馬。

◇第8回、10回、11回、13回、14回、15回、17回の7回は、JRA所属馬のワンツー・フィニッシュ。

※第11回、13回、15回はワンツースリー・フィニッシュだった。

※JRA所属馬は3着内を一度も外していない。

◇第9回のみ南関東所属馬がワンツー・フィニッシュ

※第8回、11回、13回、15回を除く6年で南関東所属馬が3着以内に入っている。

◇地方他地区所属馬は40頭が出走して、3着が1回だけ

※第8回オウシュウクラウン(岩手所属)。

■羽田盃・東京ダービーで共に連対した南関東所属馬の傾向

◇上記2走とも連対した馬は2頭が出走して0勝、2着2回、3着0回

第9回2着 アンパサンド(羽田盃2着、東京ダービー1着)

第16回2着 ハッピープリント(羽田盃1着、東京ダービー1着)

※第13回クラベセクレタは羽田盃1着、東京ダービー1着、ここで3着入線もレース確定後に失格。

◇南関東所属馬の3着内馬7頭中6頭が両レースに出走

※唯一例外は第12回優勝のマグニフィカ(羽田盃不出走、東京ダービー3着)。

◇東京ダービーの着順が羽田盃を下回った馬は3着1回のみ

※第14回3着アートサハラ(羽田盃1着→東京ダービー5着)。

※また着順を落した馬は第8回9着のサンキューウィン(羽田盃1着→東京ダービー3着)、

第9回10着のトップサバトン(羽田盃1着→東京ダービー8着)、第15回6着のソルテ(羽田盃2

着→東京ダービー3着)、第15回11着のアウトジェネラル(羽田盃1着→東京ダービー6着)、第

17回4着のストウディウム(羽田盃1着→東京ダービー7着)などが敗れている。

■全日本2歳優駿の出走馬の傾向

※前年の全日本2歳優駿で3着以上だった南関東所属馬(当時は他地区に所属していた馬を含む)

は5頭が出走して1勝、2着2回、3着0回。

◇第9回優勝 フリオース(全日本2歳優駿1着)

// 2着 アンパサンド(同3着)

◇第13回4着 キスミープリンス(同3着)

◇第15回8着 ジェネラルグラント(同2着)

◇第16回2着 ハッピープリント(同1着)

※昨年はアンサンブルライフ(浦和)が3着。

■JRA所属の全日本2歳優駿参戦馬は不振

※1着馬3頭が出走も、好走例はなし。

※昨年はJRAのサウンドスカイ、レガーロのワンツー決着だった。

■JRA所属の注目馬は、端午ステークスの優勝馬

※端午ステークスの優勝馬は8頭が出走して3勝、2着1回、3着2回の好成績

◇第9回3着 ロングプライド

◇第10回優勝 サクセスブロッケン

◇第11回2着 シルクメビウス

◇第12回3着 バトードール

◇第13回優勝 グレープブランデー

◇第14回優勝 ハタノヴァンクール

※2011年の端午ステークスは、〈被災地支援〉いぶき賞として行われた

※今年の端午ステークスの優勝馬はディーズプラネット

■ユニコーンステークスの優勝馬の傾向

※ユニコーンステークスの優勝馬は7頭が参戦し3頭が3着以内を確保

◇第9回3着 ロングプライド

◇第11回2着 シルクメビウス

◇第17回優勝 ノコノユメ

■ユニコーンステークスで2着以下に敗れていた馬にも要注意

※ユニコーンステークスで2着以下に敗れていた馬は1勝、2着2回、3着2回

◇第8回2着 バンブーエール(同5着)

◇第12回3着 バトードール(同2着)

◇第13回優勝 グレープブランデー(同2着)

◇ // 2着 ポレアス(同3着)

◇第15回3着 ケイアイレオーネ(同3着)

■JRA所属馬は、ダート戦の実績が必要

※3着以内の22頭中14頭がダート重賞で連対、もしくはダートOPでの勝利。

例外馬8頭は、第10回の2着スマートファルコン(ダート3戦2勝)、第11回優勝のテストマツタ(ダート2戦2勝)、第12回2着コスモファントム(ダートの未勝利戦1勝)、第13回2着ポレアス(ダートOP戦2着、ダート重賞3着)、同3着タガノロックオン(ダート戦2戦2勝)、第14回2着トリップ(ダート戦初出走)、第15回2着エーシンゴールド(デビュー以来ダート5戦3勝、連対率100%、ダートOP戦2着)、第16回3着フィールザスマート(デビュー以来ダート戦6戦3勝、3着2回

■芝のG I 戦に出走した馬に要注意

- ◇第 10 回優勝 サクセスブロッケン(日本ダービー18 着)
 - 〃 2 着 スマートファルコン(皐月賞 18 着)
- ◇第 11 回 3 着 ゴールデンチケット(日本ダービー7 着)
- ◇第 12 回 2 着 コスモファントム(日本ダービー10 着)
- ◇第 13 回 3 着 タガノロックオン(朝日杯フューチュリティS12 着)
- ◇第 14 回 2 着 トリップ(皐月賞 12 着、日本ダービー7 着)

■前2走のどちらかで掲示板(5着以内)は確保したい

※上記条件を満たしていなかったのは 3 着内の全 30 頭中、第 10 回 2 着馬スマートファルコンと第 14 回 2 着トリップの 2 頭のみ(どちらも 2 走とも芝の重賞に出走)。

■3歳デビュー馬は苦戦

※2 着 1 回、3 着 2 回と苦戦が続く。第 9 回 3 着のロングプライド(JRA)はダートグレード競走で連対。しかもダート連対率は 100%だった。また第 12 回 3 着のバトードル(JRA)はダート 5 戦 3 勝(重賞 2 着、OP勝ちを含む)、第 15 回 2 着のエーシンゴールド(JRA)は 5 戦 3 勝、2 着 2 回・デビュー以来連対率 100%)だった。

■逃げ切りでの優勝は1頭

- ◇第 12 回 マグニフィカ(6番人気)
- ※第 11 回ゴールデンチケットが 3 着、第 17 回クロスリーガーが 2 着にそれぞれ逃げ粘っている。

■外国産馬は1勝

- ◇第 11 回優勝 テスタマッタ(米国産)

■牝馬は3着以内なし

- ※12 頭が出走して、3 着以内なし。
- ※第 13 回でクラベセクレタが 3 着に入線するも、レース確定後に失格。

■連対馬の馬体重の増減と人気に注目

※連対馬で前走より 10 キロ以上増加していた馬(すべてJRA所属馬)の人気は下記の通り。

- ◇第 8 回 2 着 バンブーエール(+10 キロ・6 番人気)
- ◇第 10 回優勝 サクセスブロッケン(+12 キロ・1 番人気)
 - 〃 2 着 スマートファルコン(+13 キロ・3 番人気)
- ◇第 12 回 2 着 コスモファントム(+22 キロ・3 番人気)
- ◇第 13 回優勝 グレープブランデー(+10 キロ・1 番人気)

■1番人気馬が4勝

- ◇1番人気馬 4勝、2着2回、3着1回。3着内率 70.0%
 - ◇2番人気馬 3勝、2着3回、3着0回。3着内率 60.0%
 - ◇3番人気馬 1勝、2着2回、3着2回。3着内率 50.0%
- ※上位1~3番人気馬で8勝を挙げている。

■横山典弘、内田博幸騎手が2勝

※主な騎手のJDDの成績。

- ◇横山典弘【3戦】 2勝、2着0回、3着0回
- ◇内田博幸【7戦】 2勝、2着1回、3着0回
- ◇戸崎圭太【7戦】 1勝、2着1回、3着0回
- ◇岩田康誠【7戦】 1勝、2着2回、3着0回
- ◇今野忠成【5戦】 1勝、2着0回、3着2回
- ◇武豊 【5戦】 0勝、2着1回、3着2回

※上記以外の勝利騎手は、四位洋文(第14回ハタノヴァンクール)と秋山真一郎(第16回カゼノコ)、
C.ルメール(第17回ノンコノユメ)

■川島正行調教師が2勝

※川島正行調教師 第9回フリオーソ、第12回マグニフィカ

■⑪番が唯一の4勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0
2着	0	0	0	0	0	1	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0
3着	1	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	2	0	1	0	1

※2着は⑧⑨⑩番に集中

■ジャパンダートダービー(Jpn I)アラカルト(過去 17 回の分析)

※平成 19 年(2007 年)からダートグレード競走の格付けが変更

(地方競馬で行われる全競走とJRAで行われる一部競走がGからJpnに変更)

※記録は 7 月 1 日時点のもの

■JRA所属馬が13勝で圧倒

◇JRA所属馬 13 勝、2 着 11 回、3 着 7 回。3 着内率 60.8%

◇地方所属馬 4 勝、2 着 6 回、3 着 10 回。3 着内率 39.2%

※JRA所属馬のワンツー・フィニッシュは 10 回。

(第 11 回、13 回、15 回はワンツースリー・フィニッシュ)

※南関東所属馬のワンツー・フィニッシュは 3 回。

(第 1 回はワンツースリー・フィニッシュ)

■無敗馬の優勝は、トーシンブリザード1頭のみ

※ダートでの無敗馬は下記の 6 頭(カッコ内はJDDの勝利を含む)。

◇第 3 回 トーシンブリザード(ダート 8 戦 8 勝)

◇第 4 回 ゴールドアリュール(ダート 3 戦 3 勝)

◇第 7 回 カネヒキリ(ダート 5 戦 5 勝)

◇第 10 回 サクセスブロッケン(ダート 5 戦 5 勝)

◇第 11 回 テスタマッタ(ダート 3 戦 3 勝)

◇第 14 回 ハタノヴァンクール(ダート 5 戦 5 勝)

■1番人気馬が8勝で優勢

◇1番人気馬 ①⑭①①②④①④③①⑥⑥①①①②②着

(8 勝、2 着 3 回、3 着 1 回。3 着内率 70.6%)

◇2番人気馬 ④⑮⑨③①⑥⑤①②⑤②⑤失⑦②①①着

(4 勝、2 着 3 回、3 着 1 回。3 着内率 47.1%)

◇3番人気馬 ②②④②③①⑦⑭①②③②③④⑤⑤⑤着

(2 勝、2 着 5 回、3 着 3 回。3 着内率 58.8%)

■人気上位3頭のワンツースリーは3回

※人気上位の 3 頭が 3 着以内を独占は第 4 回、第 5 回、第 9 回。その確率は 17.6%

◇17 回中 14 回は 3 番人気以内の馬が優勝

(人気上位 3 頭の中から優勝馬が出る確率は 82.4%)

◇17 回中 8 回は 3 番人気以内の馬によるワンツー・フィニッシュ

(人気上位 3 頭のうち 2 頭が 1-2 着する確率は 47.1%)

◇17 回中、上位 1~3 番人気馬が 1 頭も 3 着以内に入線しなかったことはない

■牝馬は未勝利

※第6回アクイレジアの2着が最高成績

■外国産馬は2勝

◇第6回優勝 カフェオリンポス(米国産)

◇第11回優勝 テスタマッタ(米国産)

■武豊騎手が3勝、2着1回、3着2回の好成績

第4回優勝 ゴールドアリュール

第5回優勝 ビッグウルフ

第7回優勝 カネヒキリ

■角居勝彦調教師と川島正行調教師が2勝

※角居勝彦調教師 第7回カネヒキリ、第8回フレンドシップ

※川島正行調教師 第9回フリオーソ、第12回マグニフィカ

■⑪番が唯一の4勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	2	1	1	1	1	1	2	2	4	1	0	1	0	0
2着	1	0	1	1	0	2	1	4	3	3	1	0	0	0	0	0
3着	1	1	1	1	0	1	3	2	0	0	1	2	0	3	0	1

■⑥枠の6勝、2着5回が目立つ

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	0	1	2	3	0	6	4	1
2着	1	1	1	2	5	5	2	0
3着	2	0	2	3	1	1	2	6